

調査事項の見直しについて

1 背景

本調査の調査事項については、直近(2022年調査)の見直しにおいて、第6期科学技術・イノベーション基本計画への対応(特定目的別研究費に「AI分野」、「バイオテクノロジー分野」及び「量子技術分野」の3分野の追加)と、「フラスカティ・マニュアル 2015」への対応(「研究関係従業者数」の内訳として「うち労働者派遣法に基づく派遣労働者」の追加等)、「フラスカティ・マニュアル 2015」への対応(「研究関係従業者数」の内訳として「うち労働者派遣法に基づく派遣労働者」の追加等)を行った(別紙1)。

一方、これらの見直しによる報告者負担の増加から、統計委員会答申(諮問第154号の答申)において「今後の調査事項の見直しに当たっては、報告者負担の実態を適切に把握した上で、調査事項の削減等の必要性も含めて検討すること」と指摘された。

2 見直し案

(1) 第7期科学技術・イノベーション基本計画への対応

今般、第7期科学技術・イノベーション基本計画(令和8年3月27日閣議決定)において「国家戦略技術領域」に指定された以下の6領域について、本調査での研究費の把握を要請された。

- ① 機械学習に必要な電子計算機を稼働するために必要なプログラム、AIモデルによる機械学習アルゴリズムプログラム、AIモデルによる機械学習サポートプログラム、AIロボット基幹技術といったAI・先端ロボット関連技術
- ② 量子コンピューティング技術、量子通信・暗号技術、量子マテリアル技術、量子センシング技術といった量子関連技術
- ③ 先端半導体製造関連技術や光電融合技術といった半導体・通信関連技術
- ④ 生体の構造・機能に影響を与える候補物質の探索・最適化、合成生物学に基づくバイオ素材等の生産技術、新品種の開発・育種・ゲノム編集技術といったバイオ・ヘルスケア関連技術
- ⑤ ブランケット技術やトリチウム回収・再利用技術といったフュージョンエネルギー関連技術
- ⑥ 衛星測位システム、衛星通信技術、リモートセンシング、軌道上サービス、月面探査、輸送サービス技術といった宇宙関連技術

これを踏まえ、以下のとおり、それぞれ研究費の追加等の対応を行う(「調査票記入上の注意」に掲載する各分野の内容例示については別紙2参照)。

【本調査における対応(案)】

① AI・先端ロボット

特定目的別研究費(3分野)の「AI分野」で設定済み。

従前と定義・範囲についての変更はないが、AI搭載ロボットが該当する旨を明確化するため、名称を「AI分野(AI搭載ロボットを含む)」に変更。内容例示にも、AI搭載ロボットを含むことを明記。

② 量子

特定目的別研究費(3分野)の「量子技術分野」で設定済みであり、引き続き把握。

③半導体・通信

具体的な定義・範囲に合わせ、特定目的別研究費(3分野)に「半導体・光電融合技術」として追加。

④バイオ・ヘルスケア

特定目的別研究費(3分野)の「バイオテクノロジー分野」で設定済みであり、引き続き把握。

⑤フュージョンエネルギー

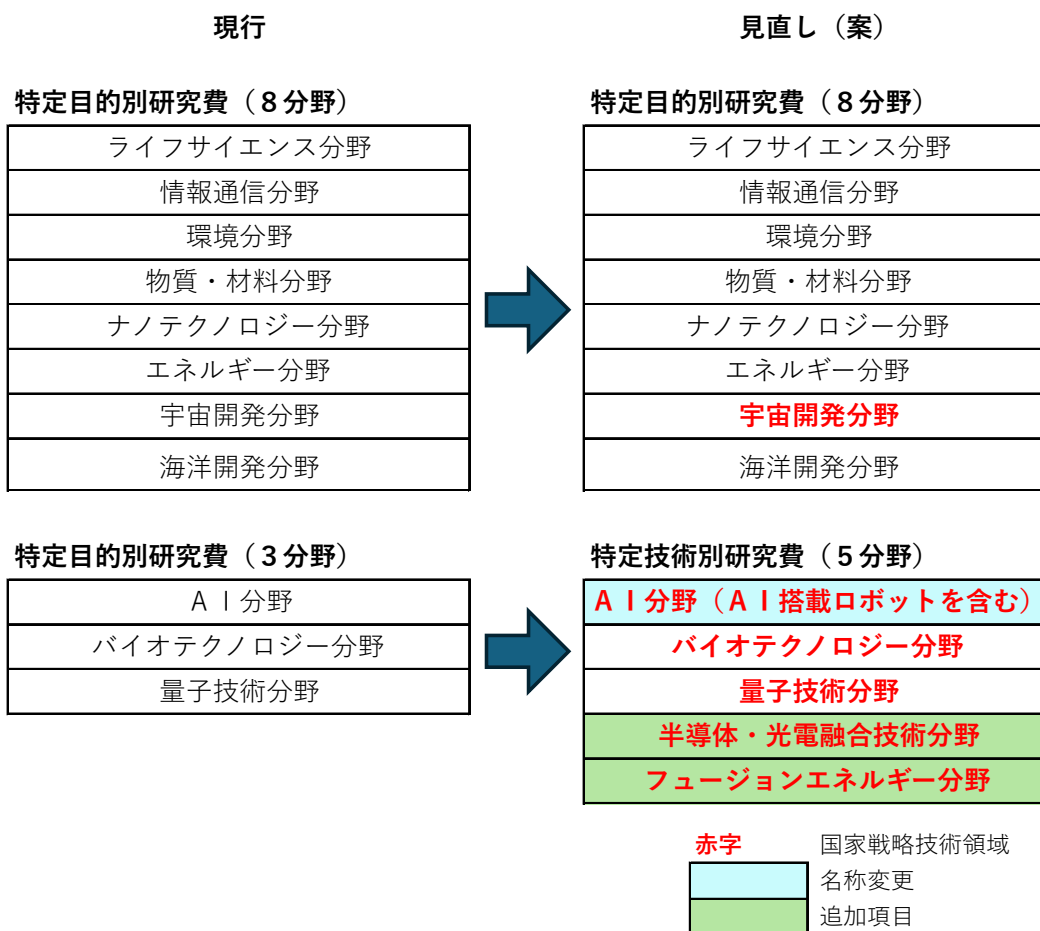
特定目的別研究費(3分野)に「フュージョンエネルギー」を追加。

なお、フュージョンエネルギーについては、研究している企業が他の分野と比べ少ないことが想定されることから、内閣府からフュージョンエネルギーに関する研究を行っている企業の最新情報入手し、調査対象に加えることで結果精度の確保を図る。

⑥宇宙

特定目的別研究費(8分野)の「宇宙開発分野」で設定済みであり、引き続き把握。

<特定目的別研究費の新旧比較>



なお、上記のとおり、特定目的別研究費(旧3分野)を5分野に拡張するに当たり、特定目的別研究費(8分野)と名称が重複することによる混乱を回避する観点から、名称を変更する。名称については、把握対象項目が「国家戦略技術領域」におおむね該当していることから、『特定技術別研究費』に変更する。

また、これまで特定目的別研究費については、企業 B を把握対象外としてきたが、企業規模を問わず我が国全体の研究開発の実態をよりの確に把握する観点から、企業規模の条件を外し、資本金1億円未満の企業にも把握対象を拡張することにより、特定目的別研究費、特定技術別研究費の結果の充実を図る。

(2) 報告者負担軽減を踏まえた調査事項の見直し



製品・サービス分野別研究費(企業 A)は、過去、科学技術に関する政府の刊行物や民間における利用等が行われていたが、現状、他の事項に比して利活用(政策や研究への利用、国際機関へのデータ提供等)が少ない状況となっている。

上記の特定技術別研究費(5分野)の拡充に伴う、分野別研究費の報告者負担軽減の観点から、本調査事項を削除する。

なお、企業 A から「製品・サービス分野別研究費」を削除、企業 B に「特定目的別研究費」及び「特定技術別研究費」を追加することにより、企業 A と企業 B の調査事項が同一になることから、企業 A と企業 B の調査票を統合する。

【参考】 近年における調査事項の見直し状況 (2017年調査以降)

(凡例)

-  : 2017年以降の調査から追加した事項
-  : 2022年以降の調査から追加した事項



この調査は、統計法に基づき政府が実施する基礎統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

記入の仕方
 ○ 記入には必ず黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消して書き直してください。
 <○の記入例> <数字の記入例> <文字の記入例>
 ぬりつぶしてください。 数字は、1文字ずつ右につめて記入してください。 文字は、1文字ずつ左につめて記入してください。
縦線1本 下書きを消ける 上につまめける 向きをつける 閉じる
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ス ウ エ ー テ ン

| | |
|----------------------|--------------------------------|
| 名称・所在地 | 代表者 職名 氏名 |
| | 記入者 部署名 氏名 |
| | 市外局番 局番 番号 内線 |
| | 電話 - - () |
| 法人番号 (13桁) を記入してください | ロジック 番号 |

- 記入の際は「調査票記入上の注意」を参照してください。
- この調査は法人を単位に行っています。このため、連結決算を行っている法人であっても、法人単体分を記入してください。
- 研究実施の有無にかかわらず1面から3面の「【3】研究実施の有無」まで記入し、研究を実施している場合（社外へ研究費を支出している場合を含む。）には、更に3面の「【4】研究関係従業者数（3月31日現在）」から8面まで記入してください。
- 資本金は6月1日現在、従業者関係事項は3月31日現在、財務関係事項は3月31日又はこの直近の決算日からさかのぼる1年間分を記入してください。

【1】企業の現況を記入してください

| | | | |
|---|-----|---|-----|
| 資本金（6月1日現在） | | | |
| 001 | 十兆 | 兆 | 千億 |
| <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | | | |
| 企業の事業の種類（2024年度） | | 生産品名又は営業種目を売上実績の多いものから順に記入してください | |
| 002 | 003 | 004 | 005 |
| 総売上高（2024年度） | | 従業者総数(3月31日現在) | |
| 006 | 十兆 | 兆 | 千億 |
| <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | |
| 統計局使用機 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | | | |

【2】国際技術交流の有無を記入してください

○ 「国際技術交流」とは、外国との間において特許、ノウハウや技術指導などの技術の提供、受入れをした場合をいいます。

008 あり なし

 『あり』の場合は下欄も記入してください



| 技 術 輸 出 | 相手先企業の国籍名 | 金 額 | うち親子公司 |
|------------------|--|----------------------------|----------------------------|
| | 009 合 計 (国籍名はワケ中に1字ずつカナ文字で記入してください) | 010 千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万円 | 011 千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万円 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| 技 術 輸 入 | 相手先企業の国籍名 | 金 額 | うち親子公司 |
|------------------|--|----------------------------|----------------------------|
| | 012 合 計 (国籍名はワケ中に1字ずつカナ文字で記入してください) | 013 千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万円 | 014 千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万円 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

【3】 研究実施の有無を記入してください

- この調査における「研究」とは、事物、機能、現象などについて新知識を得るために、又は既存の知識の新しい活用の道を開くために行われる創造的な努力及び探求をいいます。
- いわゆる研究のみならず、製品及び生産・製造工程などに関する開発や技術的改善を図るために行われる活動も研究となります。

015

| | |
|---|--------------------|
| 1 社内で研究を実施している 社内で研究を実施していないでも 貴社が給与等を支給して社外で研究関係業務を行っている出向者がある場合も含まれます この場合は【7】から【12】まで記入してください | ○ → 【4】 から 【12】 まで |
| 2 社内で研究を実施していないが 社外に研究費を支出している | ○ → 【11】 【12】 |
| 3 研究を実施していない | ○ → 終了です |

○ 社内で研究を実施している場合には、所属の研究所、研究部、課、室名などを記入してください。

【4】 研究関係従業者数（3月31日現在）を記入してください

- 研究関係業務に従事している社外からの出向者も記入の対象としてください。

| | 実 | | うち労働者派遣法に基づく派遣労働者 | | 実際に研究関係業務に従事した割合であん分した値③ |
|-----------------------------|-----|------|-------------------|------|--------------------------|
| | 総数 | うち女性 | うち男性 | うち女性 | |
| 016 017 018 019 020 021 022 | 023 | 024 | 025 | 026 | |
| 027 028 029 030 031 032 033 | 034 | 035 | 036 | 037 | |
| 038 039 040 041 042 043 044 | 045 | 046 | 047 | 048 | |
| 049 | 050 | 051 | 052 | 053 | |

- ① 「研究者」とは、大学（短期大学を除く。）の課程を修了した者、又はこれと同等以上の専門的知識を有する者で、特定のテーマをもって研究を行っている者をいいます。
・ 「専ら研究に従事する者」とは、研究者のうち、研究関係業務に専ら従事する者をいいます。
・ 「研究を兼務する者」とは、研究者のうち、他の業務を兼務する者をいいます。
- ② 「研究補助者」とは、研究者を補佐し、その指導に従って研究関係業務に従事する者をいいます。
- ③ 「技能者」とは、研究者又は研究補助者の指導・監督の下に研究に付随する技術的サービスを行う者をいいます。
- ④ 「研究事務その他の関係者」とは、研究関係業務のうち庶務、会計などの事務に従事する者をいいます。
なお、管理者のうち研究経験のある者は「研究者」に含めてください。
- ⑤ 「実数」は、研究関係業務に従事する人数を記入し、「実際に研究関係業務に従事した割合であん分した値」は、「実数」に、業務のうち研究関係業務に従事した時間の割合を乗じた人数を記入してください。また、研究関係業務に従事する者のうち、「労働者派遣法に基づく派遣労働者」をうち数として記入してください。

【5】 採用・転入・転出研究者数を記入してください

- 昨年の4月1日から今年の3月31日までの異動について記入してください。
- 「採用・転入研究者」とは、「【4】研究関係従業者」の「研究者」にあたる者で外部から加わった者をいいます。
- 新規採用者のうち、自然科学に関する研究を行う部署に配属された者は、研究内各別に記入してください。
- 転入研究者については、転入前の勤務先を、「調査票記入上の注意」の「組織分類表」区分に従って、記入してください。
- 「転出研究者」とは、「【4】研究関係従業者」の「研究者」にあたる者で外部に転出した者をいいます。
- 出向者も記入の対象としてください。

| | 総数 | | うち女性 | |
|----------------|-----|-----|------|-----|
| | 050 | 051 | 052 | 053 |
| 新規採用者数 | 054 | 055 | 056 | 057 |
| うち自然科学部門 | 058 | 059 | 060 | 061 |
| 理学 | 062 | 063 | 064 | 065 |
| 工学 | 066 | 067 | 068 | 069 |
| 農学 | 070 | 071 | 072 | 073 |
| 保健 | 074 | 075 | 076 | 077 |
| うち医学 | 078 | 079 | 080 | 081 |
| うち歯学 | 082 | 083 | 084 | 085 |
| うち薬学 | 086 | 087 | 088 | 089 |
| 転入研究者数 | 090 | 091 | 092 | 093 |
| 会社 | 094 | 095 | 096 | 097 |
| うち親子公司 | 098 | 099 | 100 | 101 |
| 非営利団体 | 102 | 103 | 104 | 105 |
| 公的機関 | 106 | 107 | 108 | 109 |
| 大学等 | 110 | 111 | 112 | 113 |
| その他 | 114 | 115 | 116 | 117 |
| 転出研究者数 | 118 | 119 | 120 | 121 |
| うち親子公司 | 122 | 123 | 124 | 125 |
| 新規採用者のうち博士号取得者 | 126 | 127 | 128 | 129 |
| 転入研究者のうち博士号取得者 | 130 | 131 | 132 | 133 |

【6】 研究者の専門別内訳を記入してください
(3月31日現在)

- 「専門別内訳」では、「【4】研究関係従業者」の「研究者」数（017及び024）の内訳を専門的知識別に記入してください。

| 合計 | 総数 | | うち女性 | |
|-------------|-----|-----|------|-----|
| | 084 | 085 | 086 | 087 |
| 084~104の計 | 088 | 089 | 090 | 091 |
| 105~126の計 | 102 | 103 | 104 | 105 |
| 数 学 | 092 | 093 | 094 | 095 |
| 情報科学 | 096 | 097 | 098 | 099 |
| 物 理 | 100 | 101 | 102 | 103 |
| 化 学 | 104 | 105 | 106 | 107 |
| 生 物 | 108 | 109 | 110 | 111 |
| 地 学 | 112 | 113 | 114 | 115 |
| その他 | 116 | 117 | 118 | 119 |
| 機械・船舶 航空 | 120 | 121 | 122 | 123 |
| 電気・通信 | 124 | 125 | 126 | 127 |
| 土木・建築 | 128 | 129 | 130 | 131 |
| 材 料 | 132 | 133 | 134 | 135 |
| 織 維 | 136 | 137 | 138 | 139 |
| その他 | 140 | 141 | 142 | 143 |
| 農 林 | 144 | 145 | 146 | 147 |
| 獣医・畜産 | 148 | 149 | 150 | 151 |
| 水 産 | 152 | 153 | 154 | 155 |
| その他 | 156 | 157 | 158 | 159 |
| 保 健 | 160 | 161 | 162 | 163 |
| 医学・歯学 | 164 | 165 | 166 | 167 |
| 薬 学 | 168 | 169 | 170 | 171 |
| その他 | 172 | 173 | 174 | 175 |
| 人文・社会科学部門 | 176 | 177 | 178 | 179 |

(分割)

研究費に関しては、経理上研究費の項目として計上されていない場合でも、研究のために使用した経費を分離して記入してください。
また、現物収入又は現物支出の場合には、時価に評価して含めて記入してください。

【7】社内で使用した研究費を記入してください

- 自己資金、社外から受け入れた資金を問わず社内で使用した研究費の1年間分を記入してください。
なお、研究部門と他の部門とに分けて算出することが困難な場合には、あな分した金額を記入してください。

| | | |
|-------------------------------|-----|---|
| 総額 (128~130,135,137,138の計) | 127 | 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 |
| 人件費① | 128 | |
| 原材料費② | 129 | |
| 有形固定資産の購入費③ | 130 | |
| 土地 | 131 | |
| 建物など | 132 | |
| 機械・器具・装置など | 133 | |
| その他の有形固定資産 | 134 | |
| 無形固定資産の購入費④ | 135 | |
| うちソフトウェア | 136 | |
| リース料⑤ | 137 | |
| その他の経費⑥ | 138 | |
| うち派遣労働者に関する費用 | 139 | |
| 有形固定資産の減価償却費⑦ | 140 | |

- ① 「人件費」とは、研究関係の従事者に対して1年間に支払った給与等(基本給、諸手当、賞与等で定期・臨時に支払われたもの)の総額(所得税、地方税、保険料などを差し引く前の総額であって、いわゆる手取り額ではない。)のほか、退職金、社会保険料などを含まれたもののうち、研究のために要したものをいいます。
給与等を支給している社外への出向者がある場合は、その者の給与等も「人件費」に含めてください。
- ② 「原材料費」とは、研究のために要した主要原料費、主要材料費、補助材料費、部分品費、試作品費などを含まれた総額をいいます。
- ③ 「有形固定資産の購入費」とは、研究に必要なすべての有形固定資産の購入費をいいます。
・建物などー建物(附属設備を含む。)、構築物、船舶、航空機
・機械・器具・装置などー耐用年数1年以上でかつ取得価額が10万円以上の機械、装置、車両、その他の運搬具、工具、器具及び備品
・その他の有形固定資産ー建設仮勘定、固定資産として扱われる動植物
- ④ 「無形固定資産の購入費」とは、研究に必要なすべての無形固定資産の購入費をいいます。
・うちソフトウェアー1年以上にわたって使用される取得価額が10万円以上のソフトウェア
- ⑤ 「リース料」とは、研究のためにリース契約に基づいて支払った金額をいいます。土地、建物の賃借、短期間のレンタル、チャーター等は含まれません。
- ⑥ 「その他の経費」とは、研究のために要した図書費、光熱水道費、消耗品費等を含めた総額をいいます。
・うち派遣労働者に関する費用ー研究関係業務に従事している者のうち、労働者派遣法に従って人材派遣会社から派遣されている者に係る費用
- ⑦ 「有形固定資産の減価償却費」とは、研究のために使用された建物、構築物、船舶、機械、車両などの有形固定資産に対する減価償却費をいいます。

【8】理学、工学、農学、保健の性格別研究費を記入してください

- 「【7】社内で使用した研究費」の「総額」のうち理学、工学、農学、保健の自然科学に関する研究費を性格によって分類して記入してください。分類単位は原則として研究テーマごとに行いますが、それが困難な場合には、研究者又は研究室ごとに分類しても差し支えありません。

| | | |
|-------------------|-----|---|
| 総額 (142~144の計) | 141 | 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 |
| 基礎研究費① | 142 | |
| 応用研究費② | 143 | |
| 開発研究費③ | 144 | |

- 分類の一般的定義は以下のとおりです。
- ① 基礎研究
特別な応用、用途を直接に考慮することなく、仮説や理論を形成するため又は現象を観察可能な事実に関して新しい知識を得るために行われる理論的又は実験的研究をいいます。
 - ② 応用研究
特定の目標を定めて実用化の可能性を確かめる研究や、既に実用化されている方法に関して新たな応用方法を探索する研究をいいます。
 - ③ 開発研究
基礎研究、応用研究及び実際の経験から得た知識を活用し、付加的な知識を創出して、新しい製品、サービス、システム、装置、材料、工程等の創出又は既存のこれらのものの改良をねらうとする研究をいいます。

【9】製品・サービス分野別研究費を記入してください

- 「製品・サービス分野別研究費」では、「【7】社内で使用した研究費」の「総額」を製品・サービス分野別に分類して記入してください。なお、製品・サービス分野別に区分できない場合には、研究者数を考慮するなどして、あな分によって金額を算出し記入してください。

| | | | | | |
|-------------------|-----|---|------------------------------|-----|---|
| 総額 (146~179の計) | 145 | 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 | 全 属 製 品 | 163 | 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 千 百 十 |
| 農林・水産品 | 146 | | 金 属 製 品 | 163 | |
| 鉱 業 | 147 | | 一 般 機 械 器 具 | 164 | |
| 建 築 ・ 土 木 | 148 | | 家 庭 電 気 製 品 | 165 | |
| 食 料 品 | 149 | | 電 気 機 械 器 具 (165を除く) | 166 | |
| 織 維 | 150 | | 情 報 通 信 機 械 器 具 ・ 電 子 部 品 | 167 | |
| パ ル プ ・ 紙 | 151 | | 自 動 車 | 168 | |
| 出 版 ・ 印 刷 | 152 | | 航 空 機 | 169 | |
| 化学肥料、無機・有機化学工業製品 | 153 | | 鉄 道 車 両 | 170 | |
| 化学繊維 | 154 | | そ の 他 の 輸 送 用 機 械 | 171 | |
| 油脂・塗料 | 155 | | 精 密 工 業 製 品 | 172 | |
| 医薬品 | 156 | | そ の 他 の 工 業 製 品 | 173 | |
| その他の化学工業製品 | 157 | | 電 気 ・ ガ ス | 174 | |
| 石油・石炭 | 158 | | ソ フ ト ウ ェ ア ・ 情 報 処 理 | 175 | |
| ゴム製品 | 159 | | そ の 他 | 176 | |
| 窯業・土石 | 160 | | そ の 他 の 研 究 費 を 記 入 | 177 | |
| 鉄 鋼 | 161 | | | 178 | |
| 非鉄金属 | 162 | | | 179 | |

【10】特定目的別研究費を記入してください

- 「【7】社内で使用した研究費」の「総額」のうち、下記の分野に関する研究を行っている場合には、それぞれの研究費を記入してください。下記8分野間で重複がある場合には、それぞれの分野に研究費を記入し、「他の7分野との重複有」欄を塗りつぶしてください。
※ 各分野の内容については、「調査票記入上の注意」を参照してください。

| | | | | | |
|------------|-------|------------------------|------------|-------|------------------------|
| 分 野 | 研 究 費 | 他 の 7 分 野 と の 重 複 有 | 分 野 | 研 究 費 | 他 の 2 分 野 と の 重 複 有 |
| ライフサイエンス分野 | 180 | | ナノテクノロジー分野 | 188 | |
| 情報通信分野 | 181 | | エネルギー分野 | 189 | |
| 環境分野 | 182 | | 宇宙開発分野 | 190 | |
| 物質・材料分野 | 183 | | 海洋開発分野 | 191 | |

- 「【7】社内で使用した研究費」の「総額」のうち、下記の分野に関する研究を行っている場合には、それぞれの研究費を記入してください。下記3分野間で重複がある場合には、それぞれの分野に研究費を記入し、「他の2分野との重複有」欄を塗りつぶしてください。
※ これらは、戦略的に取り組むべき基礎技術として、政府内で位置付けているものです。
各分野の内容については、「調査票記入上の注意」を参照してください。

| | | | | | |
|-------------|-------|------------------------|--------|-------|------------------------|
| 分 野 | 研 究 費 | 他 の 2 分 野 と の 重 複 有 | 分 野 | 研 究 費 | 他 の 2 分 野 と の 重 複 有 |
| A 1 分 野 | 196 | | 量子技術分野 | 199 | |
| バイオテクノロジー分野 | 197 | | | 200 | |

※ 2017年調査において、「震災からの復興、再生の実現」、「グリーンイノベーションの推進」、「ライフイノベーションの推進」を削除



この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

記入の仕方

○ 記入には必ず黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消して書き直してください。

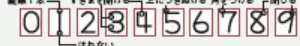
<<の記入例>>

ぬりつぶしてください。

<数字の記入例>

数字は、1文字ずつ右につめて記入してください。

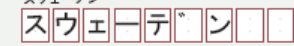
縦線1本で、下書きを閉じる。上につまみ上げる角をつける。閉じる



<文字の記入例>

文字は、1文字ずつ左につめて記入してください。

スウェーデン



| | |
|--------|---|
| 名称・所在地 | 代表者 職名 氏名 |
| | 記入者 部署名 氏名 |
| | 電話 市外局番 局番 番号 内線 - - () |
| | 法人番号 法人番号(13桁)を記入してください [][][][][][][][][][][][][][][] |

- 記入の際は「調査票記入上の注意」を参照してください。
- この調査は法人を単位に行っています。このため、連結決算を行っている法人であっても、法人単体を記入してください。
- 研究実施の有無にかかわらず1面から3面の「【3】研究実施の有無」まで記入し、研究を実施している場合（社外へ研究費を支出している場合を含む。）には、更に3面の「【4】研究関係従業者数（3月31日現在）」から7面まで記入してください。
- 資本金は6月1日現在、従業者関係事項は3月31日現在、財務関係事項は3月31日又はこの直近の決算日からさかのぼる1年間分を記入してください。

【1】企業の現況を記入してください

| | |
|--|---|
| 資本金（6月1日現在） 001 十兆 千億 百億 十億 億 千万 百万 円 [][][][][][][][][][][][][][][] | |
| 企業の事業の種類（2024年度） 002 | 生産品名又は営業種目を売上実績の多いものから順に記入してください 003 004 005 |
| 総売上高（2024年度） 006 十兆 千億 百億 十億 億 千万 百万 円 [][][][][][][][][][][][][][][] | 従業者総数(3月31日現在) 007 十万 万 千 百 十 一 人 [][][][][][][][][][][][][][][] |
| 統計局使用欄 [][][][][][][][][][][][][][][] | |

【2】国際技術交流の有無を記入してください

○ 「国際技術交流」とは、外国との間において特許、ノウハウや技術指導などの技術の提供、受入れをした場合をいいます。

008 あり なし
○ ○ 『あり』の場合は下欄も記入してください



| 技 術 輸 出 | 相手先企業の国籍名 | 金 額 | うち親子会社 |
|------------------|---|---|---|
| | 009 合 計 (国籍名はワク中に1文字ずつカナ文字で記入してください) | 010 千億 百億 十億 億 千万 百万 万円 円 | 011 千億 百億 十億 億 千万 百万 万円 円 |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |

| 技 術 入 | 相手先企業の国籍名 | 金 額 | うち親子会社 |
|-------------|---|---|---|
| | 012 合 計 (国籍名はワク中に1文字ずつカナ文字で記入してください) | 013 千億 百億 十億 億 千万 百万 万円 円 | 014 千億 百億 十億 億 千万 百万 万円 円 |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |
| | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] | [][][][][][][][][][][][][][][] |

【3】 研究実施の有無を記入してください

- この調査における「研究」とは、事物、機能、現象などについて新知識を得るために、又は既存の知識の新しい活用の道を開くために行われる創造的な努力及び探求をいいます。
- いわゆる研究のみならず、製品及び生産・製造工程などに関する開発や技術的改善を図るために行われる活動も研究となります。

015

| | |
|---|--------------------|
| 1 社内で研究を実施している 社内で研究を実施していないが 貴社が給与等を支給して社外で研究関係業務を行っている出向者がいる場合も含みます この場合は【7】から【10】まで記入してください | ○ → 【4】 から 【10】 まで |
| 2 社内で研究を実施していないが 社外に研究費を支出している | ○ → 【9】 【10】 |
| 3 研究を実施していない | ○ → 終了です |

○ 社内で研究を実施している場合には、所属の研究所、研究部、課、室名などを記入してください。

【4】 研究関係従業者数（3月31日現在）を記入してください

- 研究関係業務に従事している社外からの出向者も記入の対象としてください。

| 実 | うち女性 | | うち労働者派遣法に基づく派遣労働者 | | 実際に研究関係業務に従事した割合であん分した値④ |
|--|------|-----|-------------------|-----|--------------------------|
| | 016 | 022 | 030 | 037 | |
| 総数 (017, 020~022の計 024, 027~029の計 031, 034~036の計 038, 041~043の計) | | | | | |
| 研究者 | | | | | |
| 専ら研究に従事する者 | | | | | |
| ① 研究を兼務する者 | | | | | 044 万 千 百 十 一 人 |
| 研究補助者② | | | | | 045 |
| 技能者③ | | | | | 046 |
| 研究事務その他の関係者④ | | | | | 047 |
| 研究者のうち博士号取得者 | 048 | 049 | | | |

- ① 「研究者」とは、大学（短期大学を除く。）の課程を修了した者、又はこれと同程度の専門的知識を有する者で、特定のテーマをもって研究を行っている者をいいます。
・ 「専ら研究に従事する者」とは、研究者のうち、研究関係業務に専ら従事する者をいいます。
・ 「研究を兼務する者」とは、研究者のうち、他の業務を兼務する者をいいます。
- ② 「研究補助者」とは、研究者を補佐し、その指導に従って研究関係業務に従事する者をいいます。
- ③ 「技能者」とは、研究者又は研究補助者の指導・監督の下に研究に付随する技術的サービスを行う者をいいます。
- ④ 「研究事務その他の関係者」とは、研究関係業務のうち庶務、会計などの事務に従事する者をいいます。
なお、管理者のうち研究経験のある者は「研究者」に含めてください。
- ⑤ 「実数」は、研究関係業務に従事する人数を記入し、「実際に研究関係業務に従事した割合であん分した値」は、「実数」に、業務のうち研究関係業務に従事した時間の割合を乗じた人数を記入してください。また、研究関係業務に従事する者のうち、「労働者派遣法に基づく派遣労働者」をうち数として記入してください。

【5】 採用・転入・転出研究者数を記入してください

- 昨年の4月1日から今年の3月31日までの異動について記入してください。
- 「採用・転入研究者」とは、「【4】研究関係従業者」の「研究者」にあたる者で外部から加わった者をいいます。
- 新規採用者のうち、自然科学に関する研究を行う部署に配属された者は、研究内各別に記入してください。
- 転入研究者については、転入前の勤務先を、「調査票記入上の注意」の「組織分類表」区分に従って、記入してください。
- 「転出研究者」とは、「【4】研究関係従業者」の「研究者」にあたる者で外部に転出した者をいいます。
- 出向者も記入の対象としてください。

| 新規採用者数 | 総数 | | うち女性 | |
|----------------|-----|-----|------|-----|
| | 050 | 058 | 068 | 076 |
| うち自然科学部門 | 051 | | 069 | |
| 理学 | 052 | | 070 | |
| 工学 | 053 | | 071 | |
| 農学 | 054 | | 072 | |
| 保健 | 055 | | 073 | |
| うち医学 | 056 | | 074 | |
| うち歯学 | 057 | | 075 | |
| うち薬学 | 058 | | 076 | |
| 転入研究者数 | 059 | | 077 | |
| 会社 | 060 | | | |
| うち親子公司 | 061 | | | |
| 非常勤団体 | 062 | | | |
| 公的機関 | 063 | | | |
| 大学等 | 064 | | | |
| その他 | 065 | | | |
| 転出研究者数 | 066 | | 078 | |
| うち親子公司 | 067 | | | |
| 新規採用者のうち博士号取得者 | 079 | | 081 | |
| 転入研究者のうち博士号取得者 | 080 | | 082 | |

【6】 研究者の専門別内訳を記入してください
(3月31日現在)

- 「専門別内訳」では、「【4】研究関係従業者」の「研究者」数（017及び024）の内訳を専門的知識別に記入してください。

| 合計 (084~104の計 106~126の計) | 総数 | | うち女性 | |
|--------------------------------|-----|-----|------|-----|
| | 083 | 105 | 106 | 126 |
| 数 学 | 084 | | 106 | |
| 情報科学 | 085 | | 107 | |
| 物 理 | 086 | | 108 | |
| 化 学 | 087 | | 109 | |
| 生 物 | 088 | | 110 | |
| 地 学 | 089 | | 111 | |
| その他 | 090 | | 112 | |
| 機械・船舶・航空 | 091 | | 113 | |
| 電気・通信 | 092 | | 114 | |
| 土木・建築 | 093 | | 115 | |
| 材 料 | 094 | | 116 | |
| 織 維 | 095 | | 117 | |
| その他 | 096 | | 118 | |
| 農 林 | 097 | | 119 | |
| 獣医・畜産 | 098 | | 120 | |
| 水 産 | 099 | | 121 | |
| その他 | 100 | | 122 | |
| 医学・歯学 | 101 | | 123 | |
| 薬 学 | 102 | | 124 | |
| 健 康 | 103 | | 125 | |
| 人文・社会科学部門 | 104 | | 126 | |

(分割)

秘 基幹統計調査

2025年科学技術研究調査

調査票乙（非営利団体・公的機関）

2025年6月1日現在

09



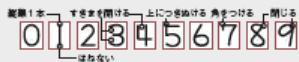
この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますが、ありのままを記入してください。

記入の仕方

○ 記入には必ず黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消して書き直してください。

<<の記入例>>
ぬりつぶしてください。

<数字の記入例>
数字は、1文字ずつ右につめて記入してください。



| | | |
|--------|-----------|--------------------|
| 名称・所在地 | 代表者 氏名 | 職名 |
| | 記入者 氏名 | 部署名 |
| | 電話 | 市外局番 局番 番号 内線 |
| | 法人番号 | 法人番号(13桁)を記入してください |

- 記入の際は「調査票記入上の注意」を参照してください。
- 研究を実施していない場合でも【1】研究実施の有無を記入してください。
- 従業者関係事項は3月31日現在、財務関係事項は3月31日又はこの直近の決算日からさかのぼる1年間分を記入してください。

【1】研究実施の有無を記入してください

| | | |
|-----|--|-----------------|
| 301 | 1 内部で研究を実施している (内部で研究を実施していても 費助人が給与等を支給して外部で研究関係業務を行っている出向者がいる場合も含みます この場合【7】から【9】までは記入不要です) | ○ → 【2】から【14】まで |
| | 2 内部で研究を実施していないが 外部に研究費を支出している | ○ → 【13】 【14】 |
| | 3 研究を実施していない | ○ → 終了です |

【2】従業者総数(3月31日現在)を記入してください

【3】支出総額を記入してください

302 十 万 千 百 十 一 人

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

303 十 兆 千 億 百 億 十 億 千 万 万 千 万 円

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

【4】主な事業及び研究の内容を記入してください (年度の事業及び研究の内容をわかりやすく記入してください)

304

統計局使用機

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

【5】支所・分場の名称及び所在地を記入してください

| | | |
|-----|-----|-------|
| 305 | 名 称 | 所 在 地 |
| | | |

【6】研究内容の学問別区分について該当するすべてを選んでください
(学問別区分が2つ以上の項目にわたる場合は、そのうち主なもの1つを選んでください)

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------------|-------|---------|---------|-----------------|-------|-------|-------|-------|---------|---------------|----------|--------|
| 306 | 学 問 別 区 分 | 1 文 学 | 2 経 済 学 | 3 社 会 学 | 4 其 他 の 社 会 科 学 | 5 理 学 | 6 工 学 | 7 農 学 | 保 健 学 | 8 保 健 学 | 9 其 他 の 保 健 学 | 10 教 育 学 | 11 其 他 |
| | 該 当 区 分 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | う ち 主 な も の | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【7】研究関係従業者数(3月31日現在)を記入してください

○ 研究関係業務に従事している外部からの出向者も記入の対象としてください。

| | | | | | | |
|--------------|------------------|-------------------|-----|-------------------|-----|----------------|
| | | 実 数 | | | | |
| | | うち女性 | | うち女性 | | |
| | | うち労働者派遣法に基づく派遣労働者 | | うち労働者派遣法に基づく派遣労働者 | | |
| | 総 数 | 307 | 314 | 321 | 328 | |
| | (308, 311~313の計) | | | | | |
| | (315, 318~320の計) | | | | | |
| | (322, 325~327の計) | | | | | |
| | (329, 332~334の計) | | | | | |
| 研 究 者 | 専ら研究に従事する者 | 308 | 315 | 322 | 329 | |
| | ① 研究を兼務する者 | 309 | 316 | 323 | 330 | |
| | | 310 | 317 | 324 | 331 | 35 万 千 百 十 一 人 |
| | 研究補助者② | 311 | 318 | 325 | 332 | 36 |
| 技 能 者 ③ | 312 | 319 | 326 | 333 | 37 | |
| | 313 | 320 | 327 | 334 | 38 | |
| 研究者のうち博士号取得者 | 339 | 340 | | | | |
| 任期無し研究者④ | 341 | 343 | | | | |
| うち40歳未満 | 342 | 344 | | | | |



【8】採用・転入・転出研究者数を記入してください

- 昨年の4月1日から今年の3月31日までの異動について記入してください。
- 「採用・転入研究者」とは、「【7】研究関係従業者」の「研究者」にあたる者で外部から加わった者をいいます。
- 新規採用者のうち、自然科学に関する研究を行う部署に配属された者は、研究内容別に記入してください。
- 転入研究者については、転入前の勤務先を、「調査票記入上の注意」の「組織分類表」区分に従って、記入してください。
- 「転出研究者」とは、「【7】研究関係従業者」の「研究者」にあたる者で外部に転出した者をいいます。
- 出向者も記入の対象としてください。

| | 総数 | | うち女性 | |
|----------|-----|-----|------|-----|
| | 345 | 346 | 347 | 348 |
| 新規採用者数 | | | | |
| うち自然科学部門 | | | | |
| 理 学 | | | | |
| 工 学 | | | | |
| 農 学 | | | | |
| 保 健 | | | | |
| うち医学 | | | | |
| うち歯学 | | | | |
| うち薬学 | | | | |
| 転入研究者数 | | | | |
| 会 社 | | | | |
| 非営利団体 | | | | |
| 公的機関 | | | | |
| 大学等 | | | | |
| その 他 | | | | |
| 転出研究者数 | | | | |

| | 372 | 374 |
|--------------------|-----|-----|
| 新規採用者のうち 博士号取得者 | | |
| 転入研究者のうち 博士号取得者 | | |

<研究関係従業者数について>

- 「研究者」とは、大学（短期大学を除く。）の課程を修了した者、又はこれと同等以上の専門的知識を有する者で、特定のテーマをもって研究を行っている者をいいます。
 - 「専ら研究に従事する者」とは、研究者のうち、研究関係業務に専ら従事する者をいいます。
 - 「研究を兼務する者」とは、研究者のうち、他の業務を兼務する者をいいます。
- 「研究補助者」とは、研究者を補佐し、その指導に従って研究関係業務に従事する者をいいます。
- 「技能者」とは、研究者又は研究補助者の指導・監督の下に研究に付随する技術的サービスを行う者をいいます。
- 「研究事務その他の関係者」とは、研究関係業務のうち庶務、会計などの事務に従事する者をいいます。
なお、管理者のうち研究経験のある者は「研究者」に含めてください。
- 「実数」は、研究関係業務に従事する人数を記入し、「実際に研究関係業務に従事した割合であん分した値」は、「実数」に、業務のうち研究関係業務に従事した時間の割合を乗じた人数を記入してください。また、研究関係業務に従事する者のうち、「労働者派遣法に基づく派遣労働者」をうち数として記入してください。
- 「任期無し研究者」とは、「研究関係従業者」の「研究者」にあたる者のうち、雇用契約期間の定めがない者（定年までの場合を含む。）をいいます。

【9】研究者の専門別内訳を記入してください（3月31日現在）

- 「専門別内訳」では、「【7】研究関係従業者」の「研究者」数（308及び315）の内訳を専門的知識別に記入してください。

（分割）

| 合計 (377~403の計 405~431の計) | 総数 | | うち女性 | |
|--------------------------------|-----------------|-----|------|-----|
| | 376 | 377 | 404 | 405 |
| 人文科学 社会科学部門 | 文 学 | | | |
| | その 他 | | | |
| | 高学・経済 | | | |
| | 社会 学 | | | |
| 自然科学 社会科学部門 | 数 学 | | | |
| | 情報科学 | | | |
| | 物 理 | | | |
| | 化 学 | | | |
| 自然科学 科学部門 | 生 物 | | | |
| | 地 学 | | | |
| | その 他 | | | |
| | 機械・船舶・航空 | | | |
| | 電気・通信 | | | |
| | 土木・建築 | | | |
| | 材 料 | | | |
| | 織 維 | | | |
| | その 他 | | | |
| | 農 林 | | | |
| 農 業 部門(雑き) | 獣医・畜産 | | | |
| | 水 産 | | | |
| | その 他 | | | |
| | 医学・歯学 | | | |
| | 薬 学 | | | |
| | その 他 | | | |
| | 心 理 学 | | | |
| その他の部門 | その 他 (数値等含む) | | | |

研究費に関しては、経理上研究費の項目として計上されていない場合でも、研究のために使用した経費を分離して記入してください。

また、現物収入又は現物支出の場合には、時価に評価して含めて記入してください。

[10] 内部で使用した研究費を記入してください

- 自己資金、外部から受け入れた資金を問わず内部で使用した研究費の1年間分を記入してください。
なお、研究部門と他の部門とに分けて算出することが困難な場合には、あん分した金額を記入してください。

| | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 総額 (433~435,440,442,443の計) | 432 | 千円 | 百円 | 十円 | 千円 | 百円 | 十円 | 万円 | 万円 | 万円 |
| 人件費① | 433 | | | | | | | | | |
| 原材料費② | 434 | | | | | | | | | |
| 有形固定資産の 購入費③ | 435 | | | | | | | | | |
| 土地 | 436 | | | | | | | | | |
| 建物など | 437 | | | | | | | | | |
| 機械・器具・装置 など | 438 | | | | | | | | | |
| その他の有形固 定資産 | 439 | | | | | | | | | |
| 無形固定資産の 購入費④ | 440 | | | | | | | | | |
| うちソフトウェア | 441 | | | | | | | | | |
| リース料⑤ | 442 | | | | | | | | | |
| その他の経費⑥ | 443 | | | | | | | | | |
| うち派遣労働者に 関する費用 | 444 | | | | | | | | | |

(分割)

- ① 「人件費」とは、研究関係の従事者に対して1年間に支払った給与等（基本給、諸手当、賞与等で定期・臨時に支払われたもの）の総額（所得税、地方税、保険料などを差し引く前の総額であって、いわゆる手取り額ではない。）のほか、退職金、社会保険料などを含まれたもののうち、研究のために要したものをいいます。
給与等を支給している外部への出向者がいる場合は、その者の給与等も「人件費」に含めてください。
- ② 「原材料費」とは、研究のために要した主要原料費、主要材料費、補助材料費、部分品費、試作品費などを含まれた総額をいいます。
- ③ 「有形固定資産の購入費」とは、研究に必要なすべての有形固定資産の購入費をいいます。
 - ・ 建物などー建物（附属設備を含む）、構築物、船舶、航空機
 - ・ 機械・器具・装置などー耐用年数1年以上でかつ取得価額が10万円以上の機械、装置、車両、その他の運搬具、工具、器具及び備品
 - ・ その他の有形固定資産ー建設仮勘定、固定資産として扱われる動植物
- ④ 「無形固定資産の購入費」とは、研究に必要なすべての無形固定資産の購入費をいいます。
 - ・ うちソフトウェアー1年以上にわたって使用される取得価額が10万円以上のソフトウェア
- ⑤ 「リース料」とは、研究のためにリース契約に基づいて支払った金額をいいます。土地、建物の賃借、短期間のレンタル、チャーター等は含まれません。
- ⑥ 「その他の経費」とは、研究のために要した図書費、光熱水道費、消耗品費等を含めた総額をいいます。
 - ・ うち派遣労働者に関する費用ー研究関係業務に従事している者のうち、労働者派遣法に従って人材派遣会社から派遣されている者に係る費用

[11] 理学、工学、農学、保健の性別研究費を記入してください

- 「[10] 内部で使用した研究費」の「総額」のうち理学、工学、農学、保健の自然科学に関する研究費を性格によって分類して記入してください。分類単位は原則として研究テーマごとに行いますが、それが困難な場合には、研究者又は研究室ごとに分類しても差し支えありません。

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 総額 (445~448の計) | 445 | 千円 | 百円 | 十円 | 千円 | 百円 | 十円 | 万円 | 万円 | 万円 |
| 基礎研究費① | 446 | | | | | | | | | |
| 応用研究費② | 447 | | | | | | | | | |
| 開発研究費③ | 448 | | | | | | | | | |

分類の一般的定義は以下のとおりです。

- ① 基礎研究
特別な応用、用途を直接に考慮することなく、仮説や理論を形成するため又は現象や観察可能な事実に関して新しい知識を得るために行われる理論的又は実験的研究をいいます。
- ② 応用研究
特定の目標を定めて実用化の可能性を確かめる研究や、既に実用化されている方法に関して新たな応用方法を探る研究をいいます。
- ③ 開発研究
基礎研究、応用研究及び実際の経験から得た知識を活用し、付加的な知識を創出して、新しい製品、サービス、システム、装置、材料、工程等の創出又は既存のこれらのものの改良をねらいとする研究をいいます。

[12] 特定目的別研究費を記入してください

- 「[10] 内部で使用した研究費」の「総額」のうち、下記の分野に関する研究を行っている場合には、それぞれの研究費を記入してください。下記8分野間で重複がある場合には、それぞれの分野に研究費を記入し、「他の7分野との重複有」欄を塗りつぶしてください。

※ 各分野の内容については、「調査票記入上の注意」を参照してください。

| 分 野 | 研 究 費 | 他の7分野 との重複有 | 分 野 | 研 究 費 | 他の7分野 との重複有 |
|----------------|-------|----------------|----------------|-------|----------------|
| ライフサイエンス 分野 | 449 | | ナノテクノロジー 分野 | 453 | |
| 情報通信分野 | 450 | | エネルギー分野 | 454 | |
| 環境分野 | 451 | | 宇宙開発分野 | 455 | |
| 物質・材料分野 | 452 | | 海洋開発分野 | 456 | |

- 「[10] 内部で使用した研究費」の「総額」のうち、下記の分野に関する研究を行っている場合には、それぞれの研究費を記入してください。下記3分野間で重複がある場合には、それぞれの分野に研究費を記入し、「他の2分野との重複有」欄を塗りつぶしてください。

※ これらは、戦略的に取り組むべき基盤技術として、政府内で位置付けているものです。
各分野の内容については、「調査票記入上の注意」を参照してください。

| 分 野 | 研 究 費 | 他の2分野 との重複有 | 分 野 | 研 究 費 | 他の2分野 との重複有 |
|-----------------|-------|----------------|--------|-------|----------------|
| A I 分野 | 465 | | 量子技術分野 | 467 | |
| バイオテクノロジー 分野 | 466 | | | | |

〔※ 2017年調査において、「震災からの復興、再生の実現」、「グリーンイノベーションの推進」、「ライフイノベーションの推進」を削除〕

*** 「[1] 研究実施の有無」で「2」を選択した場合は、ここから記入してください***

[13] 外部から受け入れた研究費を記入してください

- 取入名目(受託費、科学研究費、補助金、交付金等)のいかんを問わず、外部から研究費として受け入れた金額の総額を左欄に記入し、そのうち、内部で使用した研究費は右欄に記入してください。
なお、科研費等の公的資金の受入に関しては、「調査票記入上の注意」を参照してください。

| 総 額 (472~485の計、487~500の計) | 受 入 額 | | | | | うち内部で使用した研究費 | | | | |
|------------------------------|-------|-----|-----|-----|-----|--------------|-----|-----|-----|-----|
| | 471 | 472 | 473 | 474 | 475 | 486 | 487 | 488 | 489 | 490 |
| 国 | | | | | | | | | | |
| 地方公共団体 | | | | | | | | | | |
| 国・公立大学 | | | | | | | | | | |
| 国・公営、独立行政法人等の研究機関 | | | | | | | | | | |
| 公営企業・公庫等 | | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | |
| 会 社 ※ | | | | | | | | | | |
| 私 立 大 学 | | | | | | | | | | |
| 非 営 利 団 体 | | | | | | | | | | |
| 会 社 | | | | | | | | | | |
| 大 学 | | | | | | | | | | |
| 政 府 機 関 | | | | | | | | | | |
| 民 間 非 営 利 団 体 | | | | | | | | | | |
| そ の 他 | | | | | | | | | | |

※ 国内の会社から受け入れた研究費に以下の名目が含まれている場合には、該当する金額を記入してください。

| 会社から受け入れた研究費の名目 | 受 入 額 | | | | | うち内部で使用した研究費 | | | | |
|-----------------|-------|-----|-----|-----|-----|--------------|-----|-----|-----|-----|
| | 501 | 502 | 503 | 504 | 505 | 504 | 505 | 506 | 507 | 508 |
| 共 同 研 究 費 | | | | | | | | | | |
| 受 託 研 究 費 | | | | | | | | | | |
| 寄 附 金 | | | | | | | | | | |

[14] 外部へ支出した研究費を記入してください

- 支出名目(委託費、賦課金等)のいかんを問わず、外部へ研究費として支出した金額の総額を左欄に記入し、そのうち、自己資金から支出した研究費は右欄に記入してください。
なお、科研費等の公的資金からの支出に関しては、「調査票記入上の注意」を参照してください。

| 総 額 (508~519の計、521~532の計) | 支 出 額 | | | | | うち自己資金から支出した研究費 | | | | |
|------------------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----------------|-----|-----|-----|-----|
| | 507 | 508 | 509 | 510 | 511 | 520 | 521 | 522 | 523 | 524 |
| 公 的 機 関 | | | | | | | | | | |
| 国・公立大学 | | | | | | | | | | |
| 国・公営、独立行政法人等の研究機関 | | | | | | | | | | |
| 公営企業・公庫等 | | | | | | | | | | |
| そ の 他 | | | | | | | | | | |
| 会 社 | | | | | | | | | | |
| 私 立 大 学 | | | | | | | | | | |
| 非 営 利 団 体 | | | | | | | | | | |
| 会 社 | | | | | | | | | | |
| 大 学 | | | | | | | | | | |
| 政 府 機 関 | | | | | | | | | | |
| 民 間 非 営 利 団 体 | | | | | | | | | | |
| そ の 他 | | | | | | | | | | |

| | |
|-------|---|
| 備 考 欄 | (名称、所在地、業務などの変更のほか、回答内容に関連のある特記事項を記入してください) |
|-------|---|

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますが、ありのままを記入してください。

調査票丙 (大学等)
2025年6月1日現在



総務省統計局

記入の仕方

○ 記入には必ず黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消して書き直してください。

＜○の記入例＞

ぬりつぶしてください。

＜数字の記入例＞

数字は、1文字ずつ右につめて記入してください。

縦書きの数字は、1文字ずつ右につめて記入してください。



| | | |
|--------|-----------|---------------|
| 名称・所在地 | 代表者 氏名 | 職名 |
| | 記入者 氏名 | 部署名 |
| | 電話 | 市外局番 局番 番号 内線 |
| | 法人番号 | ロケット情報 |

○ 記入の際は「調査票記入上の注意」を参照してください。

○ この調査は、大学の各学部、短期大学、高等専門学校、大学附置の研究所等について行います。なお、大学院については、各研究科をそれぞれ対応する学部を含めてください。ただし、大学院のみを置く大学については、研究科ごとに記入してください。

○ 医学部については、附属病院も含めてください。

○ 従業者関係事項は3月31日現在、財務関係事項は3月31日又はこの直近の決算日からさかのぼる1年間分を記入してください。

【1】大学等の種類を選んでください

| | | | | | | |
|--------|-------|------|--------|------|------|------|
| 501 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 大学等の種類 | 大学の学部 | 短期大学 | 高等専門学校 | 大学附置 | 大学共同 | 利用機関 |
| 該当区分 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【2】分校・分場の名称及び所在地を記入してください

| | | |
|-----|----|-----|
| 502 | 名称 | 所在地 |
| | | |

統計局使用欄

【3】研究内容の学問別区分について該当するすべてを選んでください
(学問別区分が2つ以上の項目にわたる場合は、そのうち主なもの1つを選んでください)

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|----|----|-----|----------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 503 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 保健 | | 10 | 11 | 12 |
| 学問別区分 | 文学 | 法学 | 経済学 | その他の社会科学 | 理学 | 工学 | 農学 | 医学 | 歯学 | 家政学 | 教育学 | その他 |
| 該当区分 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| うち主なもの | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【4】従業者数 (3月31日現在) を記入してください

○ 研究関係業務に従事している外部からの出向者も記入の対象としてください。

| | | | |
|------------------|------|-------------------|------|
| | | 実 務 | |
| | | うち女性 | |
| | | うち労働者派遣法に基づく派遣労働者 | |
| | | うち女性 | |
| 研究関係従業者数の合計 | 504 | 514 | 524 |
| (505, 510~513の計) | □□□□ | □□□□ | □□□□ |
| (515, 520~523の計) | □□□□ | □□□□ | □□□□ |
| (525~527の計) | □□□□ | □□□□ | □□□□ |
| (529~531の計) | □□□□ | □□□□ | □□□□ |
| 研究関係者 | 505 | 515 | 525 |
| | 506 | 516 | 526 |
| | 507 | 517 | 527 |
| | 508 | 518 | 528 |
| | 509 | 519 | 529 |
| | 510 | 520 | 530 |
| | 511 | 521 | 531 |
| | 512 | 522 | 532 |
| | 513 | 523 | 533 |
| | 514 | 524 | 534 |
| 515 | 525 | 535 | |
| 516 | 526 | 536 | |
| 517 | 527 | 537 | |
| 518 | 528 | 538 | |
| 519 | 529 | 539 | |
| 520 | 530 | 540 | |
| 521 | 531 | 541 | |
| 522 | 532 | 542 | |



【5】採用・転入・転出研究者数を記入してください

- 昨年(4月1日)から今年(3月31日)までの異動について記入してください。
- 「採用・転入研究者」とは、「【4】従業者」の「教員」、「医局員」及び「その他の研究員」にあたる者で外部から加わった者をいいます。
- 新規採用者のうち、自然科学に関する研究を行う部署に配属された者は、研究内容別に記入してください。
- 転入研究者については、転入前の勤務先を、「調査票記入上の注意」の「組織分類表」区分に従って記入してください。
- 「転出研究者」とは、「【4】従業者」の「教員」、「医局員」及び「その他の研究員」にあたる者で外部に転出した者をいいます。
- 出向者も記入の対象としてください。

| | 総数 | | うち女性 | |
|----------|-----|-----|------|-----|
| | 543 | 550 | 552 | 568 |
| 新規採用者数 | 543 | 550 | 552 | 568 |
| うち自然科学部門 | 544 | 560 | | |
| 理 学 | 545 | 561 | | |
| 工 学 | 546 | 562 | | |
| 農 学 | 547 | 563 | | |
| 保 健 | 548 | 564 | | |
| うち医学 | 549 | 565 | | |
| うち歯学 | 550 | 566 | | |
| うち薬学 | 551 | 567 | | |
| 転入研究者数 | 552 | 568 | | |
| 会 社 | 553 | | | |
| 非営利団体 | 554 | | | |
| 公的機関 | 555 | | | |
| 大 学 等 | 556 | | | |
| そ の 他 | 557 | | | |
| 転出研究者数 | 558 | 569 | | |

<従業者数について>

- 「研究者」とは、「教員」、「医局員」、「その他の研究員」、「大学院博士課程の在籍者」のいずれかに該当する者をいいます。
 - 「教員」とは、教授、准教授、助教及び講師をいいます。
 - 「医局員」とは、「教員」及び「大学院博士課程の在籍者」以外の者で、医学部に所属し、大学附属病院及び関連施設において診療、研究、教育に従事している医師をいいます。
 - 「その他の研究員」とは、「教員」、「医局員」及び「大学院博士課程の在籍者」以外の者で、大学(短期大学を除く。)の課程を修了した者又はこれと同等以上の専門的知識を有し、特定のテーマをもって研究を行っている者をいいます。
 - 「兼務者」とは、外部に本務をもつ研究者をいいます。ただし、講義専門の非常勤教職員は、「研究以外の業務に従事する従業者」に含めてください。
- 「研究補助者」とは、研究者を補佐し、その指導に従って研究関係業務に従事する者をいいます。
- 「技能者」とは、研究者又は研究補助者の指導・監督の下に研究に付随する技術的サービスを行う者をいいます。
- 「研究事務その他の関係者」とは、研究関係業務のうち庶務、会計などの事務に従事する者をいいます。ただし、この従事者が各学部に関係している場合には、それらの学部数で等分して記入してください。
- 「本務者のうち博士号取得者」には、「大学院博士課程の在籍者」は含めません。
- 「任期無し研究者」とは、「従業者」の「教員」又は「その他の研究員」にあたる者のうち、雇用契約期間の定めがない者(定年までの場合を含む。)をいいます。
- 「大学院博士課程の在籍者のうち雇用関係を有する者」とは、リサーチアシスタントなどとして、研究関係業務を行う者として雇用契約を結んでいる者をいいます。
- 「その他の研究員のうち雇用関係を有する者」とは、任期の有無にかかわらず、研究関係業務を行う者として雇用契約を結んでいる者をいいます。
- 「研究以外の業務に従事する従業者」とは、主として教育業務又は診療業務に関する技術者、庶務・会計等の事務者、用務員などをいいます。なお、管理者のうち研究経験のある者は「研究者」に含めてください。

【6】研究本務者の専門別内訳を記入してください(3月31日現在)

- 「専門別内訳」では、「【4】従業者」の「本務者」数(505及び515)の内訳を専門的知識別に記入してください。

| 合 計 | 総 数 | | うち女性 | |
|-------------|-----|-----|------|-----|
| | 570 | 615 | 615 | 615 |
| 人文科学 | 571 | 616 | | |
| 文 学 | 571 | 616 | | |
| 史 学 | 572 | 617 | | |
| 哲 学 | 573 | 618 | | |
| そ の 他 | 574 | 619 | | |
| 社会科学 | 575 | 620 | | |
| 法 学 ・ 政 治 | 575 | 620 | | |
| 高 学 ・ 経 済 | 576 | 621 | | |
| 社 会 学 | 577 | 622 | | |
| そ の 他 | 578 | 623 | | |
| 自然科学部門 | 579 | 624 | | |
| 数 学 | 579 | 624 | | |
| 情 報 科 学 | 580 | 625 | | |
| 理 学 | 581 | 626 | | |
| 物 理 | 581 | 626 | | |
| 化 学 | 582 | 627 | | |
| 生 物 | 583 | 628 | | |
| 地 学 | 584 | 629 | | |
| そ の 他 | 585 | 630 | | |
| 工 学 | 586 | 631 | | |
| 機 械 ・ 船 舶 | 586 | 631 | | |
| 電 気 ・ 通 信 | 587 | 632 | | |
| 土 木 ・ 建 築 | 588 | 633 | | |
| 応 用 化 学 | 589 | 634 | | |
| 応 用 理 学 | 590 | 635 | | |
| 原 子 力 | 591 | 636 | | |
| 工 学 (続 き) | 592 | 637 | | |
| 材 料 | 592 | 637 | | |
| 織 維 | 593 | 638 | | |
| 航 空 | 594 | 639 | | |
| 経 営 工 学 | 595 | 640 | | |
| そ の 他 | 596 | 641 | | |
| 自然科学部門 | 597 | 642 | | |
| 農 学 | 597 | 642 | | |
| 農 芸 化 学 | 598 | 643 | | |
| 農 業 工 学 | 599 | 644 | | |
| 農 業 経 済 | 600 | 645 | | |
| 林 学 | 601 | 646 | | |
| 林 産 | 602 | 647 | | |
| 獣 医 ・ 畜 産 | 603 | 648 | | |
| 水 産 | 604 | 649 | | |
| そ の 他 | 605 | 650 | | |
| 保 健 | 606 | 651 | | |
| 医 学 | 606 | 651 | | |
| 歯 学 | 607 | 652 | | |
| 薬 学 | 608 | 653 | | |
| 看 護 | 609 | 654 | | |
| そ の 他 | 610 | 655 | | |
| そ の 他 の 部 門 | 611 | 656 | | |
| 心 理 学 | 611 | 656 | | |
| 家 政 | 612 | 657 | | |
| 教 育 | 613 | 658 | | |
| 芸 術 ・ 他 | 614 | 659 | | |

【11】 外部から受け入れた研究費を記入してください

- 収入名目(受託費、科学研究費、補助金、交付金等)のいかんを問わず、外部から研究費として受け入れた金額の総額を左欄に記入し、そのうち、内部で使用した研究費は右欄に記入してください。
なお、科研費等の公的資金の受入に関しては、「調査票記入上の注意」を参照してください。

| 総 額 (701~714の計 716~729の計) | 受 入 額 | |
|---------------------------------|-----------------------------------|---|
| | 700 高 千 億 百 億 十 億 千 万 百 万 十 万 万 円 | うち内部で使用した研究費 715 高 千 億 百 億 十 億 千 万 百 万 十 万 万 円 |
| 公 的 機 関 | | |
| 国 | 701 | 716 |
| 地方公共団体 | 702 | 717 |
| 国・公立大学 | 703 | 718 |
| 国・公営、独立行政法人等の研究機関 | 704 | 719 |
| 公営企業・公庫等 | 705 | 720 |
| そ の 他 | 706 | 721 |
| 会 社 ※ | 707 | 722 |
| 私 立 大 学 | 708 | 723 |
| 非 営 利 団 体 | 709 | 724 |
| 海 外 | | |
| 会 社 | 710 | 725 |
| 大 学 | 711 | 726 |
| 政 府 機 関 | 712 | 727 |
| 民 間 非 営 利 団 体 | 713 | 728 |
| そ の 他 | 714 | 729 |

※ 国内の会社から受け入れた研究費に以下の名目が含まれている場合には、該当する金額を記入してください。

| 会社から受け入れた研究費の名目 | 受 入 額 | |
|-----------------|-----------------------------------|---|
| | 730 高 千 億 百 億 十 億 千 万 百 万 十 万 万 円 | うち内部で使用した研究費 733 高 千 億 百 億 十 億 千 万 百 万 十 万 万 円 |
| 共 同 研 究 費 | 730 | 733 |
| 受 託 研 究 費 | 731 | 734 |
| 寄 附 金 | 732 | 735 |

【12】 外部へ支出した研究費を記入してください

- 支出名目(委託費、賦課金等)のいかんを問わず、外部へ研究費として支出した金額の総額を左欄に記入し、そのうち、自己資金から支出した研究費は右欄に記入してください。
なお、科研費等の公的資金からの支出に関しては、「調査票記入上の注意」を参照してください。

| 総 額 (737~748の計 750~761の計) | 支 出 額 | |
|---------------------------------|-----------------------------------|--|
| | 736 高 千 億 百 億 十 億 千 万 百 万 十 万 万 円 | うち自己資金から支出した研究費 749 高 千 億 百 億 十 億 千 万 百 万 十 万 万 円 |
| 公 的 機 関 | | |
| 国・公立大学 | 737 | 750 |
| 国・公営、独立行政法人等の研究機関 | 738 | 751 |
| 公営企業・公庫等 | 739 | 752 |
| そ の 他 | 740 | 753 |
| 会 社 | 741 | 754 |
| 私 立 大 学 | 742 | 755 |
| 非 営 利 団 体 | 743 | 756 |
| 海 外 | | |
| 会 社 | 744 | 757 |
| 大 学 | 745 | 758 |
| 政 府 機 関 | 746 | 759 |
| 民 間 非 営 利 団 体 | 747 | 760 |
| そ の 他 | 748 | 761 |

| | |
|-------|---|
| 備 考 欄 | (名称、所在地、業務などの変更のほか、回答内容に関連のある特記事項を記入してください) |
|-------|---|

特定目的別研究費(8分野)の内容例示

| | |
|------------|--|
| ライフサイエンス分野 | 生命現象・生物機能を解明する基礎的研究から、実験生物、保健・医療に関する研究、環境保全、生物の工業利用、食料資源の開発、生物によるエネルギー開発など、生命科学に係る研究を幅広くとらえています。また、生命倫理や法制度など関連する人文・社会科学的な研究も含まれます。 |
| 情報通信分野 | 集積回路や電子機器材料などハードウェアに関する研究開発、データ通信技術やソフトウェア（OS等システムプログラムのみでなく、アプリケーションも含む。）に関する設計開発のほか、画像処理、暗号・認証技術や遠隔医療診断など情報処理技術の利用法に関する研究、ネットワーク高度化技術の研究、高度コンピューティング技術の研究、ヒューマンインターフェース技術の研究などをいいます。 |
| 環境分野 | 自然環境保護、環境汚染対策を目的とする自然科学的研究のほか、環境税制、都市計画、社会制度（ゴミの回収等）など環境問題に関連する人文・社会科学的な研究も含まれます。いわゆる省エネに関する技術も広く含めます。 |
| 物質・材料分野 | 情報通信や医療等の基盤となる原子・分子サイズでの物質の構造及び形状の解明・制御や、表面、界面等の制御等の物質・材料技術、及び省エネルギー・リサイクル・省資源に応える付加価値の高いエネルギー・環境用物質・材料技術、並びに安全な生活空間を保障するための安全空間創成材料技術等に関する研究をいいます。 |
| ナノテクノロジー分野 | ナノ（10億分の1）メートルのオーダーで原子・分子を操作・制御すること等により、ナノサイズ特有の物質物性等を利用した新しい機能を発現させる研究等をいいます。具体的には、ナノレベルで物質構造等を制御することで、超高強度化、超軽量化、超高効率発光等の革新的機能を有するナノ物質・材料、超微細化技術や量子効果の活用等により、次世代の超高速通信、超高速情報処理を実現するナノ情報デバイス、体内の患部に極小のシステムを直接送達し、診断・治療する医療技術、様々な生物現象をナノメートルレベルで観察し、そのメカニズムを活用し制御するナノバイオロジーなどの研究開発をいいます。 |
| エネルギー分野 | 化石燃料、地熱・太陽・風力・海洋・生物等の自然、原子力などエネルギー源の開発に関する研究（特殊な材料など周辺技術も含まれます。）と、エネルギー消費の効率化（いわゆる省エネ）に関する研究をいいます。また、炭素税などエネルギー問題に関連する人文・社会科学的な研究も含まれます。 |
| 宇宙開発分野 | 衛星搭載機器、宇宙用耐熱材料、衛星通信、衛星写真の解析による資源探査など、宇宙空間の利用に関係する研究を幅広くいいます。ただし、天体観測や宇宙線の観測など、天文学に属する学術的な研究は含みません。 |
| 海洋開発分野 | 魚介類の養殖、海洋生物資源の調査計測、海底油田探査技術、海水からの金属抽出、潮汐発電など、海洋を利用することを目的とする研究を幅広く含めています。ただし、船舶など海上輸送機器の設計開発は除きます。 |

特定技術別研究費(5分野)の内容例示

| | |
|------------------------|---|
| A I 分野 (A I 搭載ロボットを含む) | 人工知能を構成する上で必要となる基機的研究から、社会実装に必要なA I システム化技術及び関連デバイス技術に関する研究開発、さまざまな産業及び経済活動分野へのA I 実装技術の研究開発、A I を搭載するロボットの装置・システム等に関する研究、A I に係る倫理・法制度など、A I 科学技術及びA I を搭載するロボットに係る幅広い研究をいいます。 |
| バイオテクノロジー分野 | 知識、商品及びサービスを生産するために、生体材料又は非生体材料を変更するための、生体並びにその一部、産物及びモデルへの科学技術の適用に関する研究をいいます。 |
| 量子技術分野 | 量子に関する科学及びそれを応用する技術に関する基盤的研究から、実用化・事業化に向けた研究開発のほか、これを支える周辺技術に関する研究開発など、量子技術に係る幅広い研究をいいます。 |
| 半導体・光電融合技術分野 | 半導体素子及び集積回路並びにその研究開発、設計、製造、組立、実装及び検査に必要な原材料、部素材、設備、機器、装置、治工具、プログラムその他これらに関連するものに関する研究、光と電気・電波の特性を融合し、情報の伝送・処理における高速化、低消費電力化、低遅延化を実現する技術をいいます。 |
| フュージョンエネルギー分野 | 原子核同士が融合して別の原子核に変わる際に放出されるエネルギーに関する科学及びそれを応用する技術に関する研究開発のほか、これを支える周辺技術に関する研究開発など、フュージョンエネルギーに係る幅広い研究をいいます。 |